

日本語用論学会

日本語用論学会第3回(2000年度)大会プログラム

日時 2000年12月2日(土)

会場 神戸研究学園都市大学交流センター

UNITY (2階) 〒651-2103 神戸市西区学園西町1丁目1-1 ユニバープラザ内 (Tel.078-794-4970)

①JR 新神戸駅から神戸市営地下鉄新神戸駅に乗り換え(西神中央行き)、**神戸市営地下鉄学園都市駅**(新神戸駅から約30分)で下車、徒歩1分。②JR あるいは阪急、阪神三宮駅にて、神戸市営地下鉄三宮駅に乗り換え(西神中央行き)、**神戸市営地下鉄学園都市駅**(三宮から約25分)で下車、徒歩1分。③JR 舞子駅から神戸市営バス53系統、54系統で、**学園都市駅前**(約25分)で下車(別紙の地図参照)

<昼食は学園都市駅周辺に食堂街があります><お車でのご来場はご遠慮下さい>

<午前中に**ワークショップ**があります。裏面をご参照下さい>

受付 11:00~ (ギャラリーホワイエ)

書籍展示 (ギャラリーホワイエ) (10:30~18:00)

総会 (12:00~12:20) (セミナー室4) 司会 高司 正夫 (宮崎公立大学)

1. 開会の辞 高原 脩 (神戸市外国語大学)
2. 会長挨拶 小泉 保 (関西外国語大学)
3. 事務局長報告 澤田 治美 (関西外国語大学)
4. 編集委員会報告 高原 脩 (神戸市外国語大学)
5. 会計報告 田中 廣明 (関西外国語大学)
6. その他

研究発表 (12:30~15:35)

A室 (セミナー室4) 司会 武内 道子 (神奈川大学)

1. English Primary Interjections in Relevance Theoretical Approach 西川 眞由美 (奈良女子大学大学院)
2. 表意/高次表意からみた日英語比較への一視点 内田 聖二 (奈良女子大学)

(10分休憩)

司会 山口 治彦 (神戸市外国語大学)

3. not un-X についての一考察 榊原 愛 (大阪大学大学院)
4. 反論という言語行為へのアプローチ—表現形式・機能及び構造を中心に—
趙 華敏 (同志社大学大学院・中国北京大学外国語学院)
5. 認知的不調和としてのアイロニー：認知から情緒へ 春木 茂宏 (大阪大学大学院)

B室 (セミナー室3) 司会 橋内 武 (桃山学院大学)

1. 話題による参与構造の変化：教員会議の談話から 内田 らら (日本女子大学大学院)
2. Multiple Perspectives on Everyday Discourse: An Analysis of Japanese *de* vs. *ga* 林 礼子 (甲南女子大学)

(10分休憩)

司会 神尾 昭雄 (獨協大学)

3. 'S KNOW WHETHER' という表現について 森 貞 (福井工業高等専門学校)
4. 条件文とモダリティ—視点を中心に— 岡本 芳和 (関西外国語大学大学院)
5. メタ言語否定について—話し手の意図と聞き手の解釈— 田中 廣明 (関西外国語大学)

シンポジウム (15:45~18:00) (セミナー室4) 司会 高原 脩 (神戸市外国語大学)

<<プロフェッションと語用論—語用論はいかに「場」の行動を分析するか—>>

1. 場面と意味 講師 国広 哲弥 (東京大学名誉教授)
2. 障害をもつ人との会話—重い知的障害及び高機能自閉症 講師 大井 学 (金沢大学)
3. 法的場面のエスノメソドロジー—法律相談における語りの分析 講師 檜村 志郎 (神戸大学)

閉会の辞 小泉 保 (関西外国語大学)

懇親会 (18:30~) 神戸市外国語大学三木記念会館 (会費 3,000円)

会長 小泉保 事務局 〒573-1001 大阪府枚方市北片鉾町16-1 関西外国語大学 澤田治美研究室内 日本語用論学会事務局
Tel.072-856-1721 (代表) FAX 072-855-5534 郵便振替口座 00900-3-130378 口座名：日本語用論学会

ワークショップ (10:30~12:00)

A室(セミナー室4) 司会 杉本 孝司 (大阪外国語大学)

テーマ: 認知と言語使用

1. 構文の拡張可能性と体系的メタファー 児玉 一宏 (京都大学研修員)
2. ヘッジ表現の対人機能とその動機付け 高水 徹 (京都大学大学院)
3. 言語表現の機能的側面と iconicity 山下 美津子 (京都教育大学)
4. 象徴的媒介について 岡本 夏木 (京都教育大学名誉教授)

B室(特別会議室) 司会 林 宅男 (桃山学院大学)

テーマ: コミュニケーションにおけるストラテジーとスタイル

1. 新聞英語の語用論的分析 —オーストラリアの新聞三紙 (The Australian, The Age, Herald Sun) の比較による— 中村 秩祥子 (龍谷大学大学院)
2. 発信者の<発信能力>と受信者の<解読能力>の一致度—<断り>行為の場合— 村井 卷子 (京都大学留学生センター 非常勤講師)
3. 批判に際して用いられる日米人のコミュニケーション・ストラテジー 小林 純子 (関西外国語大学)

C室(セミナー室3) 司会 西光 義弘 (神戸大学)

テーマ: 構文研究と語用論

1. 結果構文の <捉え方> (construal)に関する一考察 松本 知子 (同志社女子大学大学院研究生)
2. there 構文と it 構文: 談話情報からの考察 海寶 康臣 (立命館大学大学院研究生)
3. 時間節構文における事象の相互関係 田中 美和子 (関西外国語大学大学院)
4. 日本語における主要部内在型関係節(Head-internal relative clauses)の語用論的解釈の分析 西山 幹枝 (大阪大学大学院研究生)

D室(セミナー室1) 司会 東森 勲 (神戸女学院大学)

テーマ: 言語表現とコンテキスト

1. Cataphoric *that* 笹本 涼子 (奈良女子大学大学院)
2. Repetition, Refrain, and Relevance—詩的効果と反復の型— 塩田 英子 (龍谷大学大学院)
3. 口語コーパスによる談話辞の語用論的分析 松岡 信哉 (龍谷大学非常勤講師)